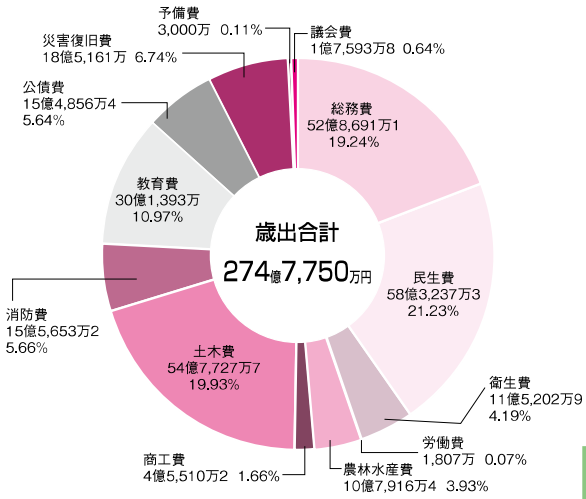


# 令和2年度一般会計収支状況

(単位:千円)



## 令和2年度各種会計のあらまし (単位:千円)

会計区分	令和2年度予算額	令和元年度予算額	増減額	前年度比較
一般会計	274億7,750万0	335億7,900万0	△61億 150万0	△18.2%
特別会計				
国民健康保険	45億 314万7	44億3,157万3	7,157万4	1.6%
後期高齢者医療	3億9,544万2	3億6,079万2	3,465万0	9.6%
介護保険	32億5,743万9	32億4,503万0	1,240万9	0.4%
大曲浜地区土地区画整理事業	1億5,739万5	2億6,850万0	△1億1,110万5	△41.4%
計(特別会計小計)	(83億1,342万3)	(83億 589万5)	(752万8)	(0.1%)
下水道事業	35億8,307万4	70億8,359万8	△35億 52万4	△49.4%
合計(一般会計+特別会計+下水道事業計)	393億7,399万7	489億6,849万3	△95億9,449万6	△19.6%

## 2

### 財務常任委員会、分科会による審査(2月21日~3月3日)

#### 財務常任委員会、分科会審査

令和2年度の予算については、震災から10年目となり市長マニフェストに沿って震災復興のラストスパートと位置づけ、ハード事業の完結と心の復興への対応も図っています。予算の総額も393億円と減少し、復興完結が目前に迫り、いよいよ震災以前の一般会計予算に近づき、来年度からの市政運営と財政再建への取り組みも視野に391件の質疑が提出され、各分科会で議論されました。

委員会としては、新たな取り組みと議会改革の一端として、各分科会の予算質疑をライブ中継できる議場を利用して、3日間に渡り、市民の皆様が開示しました。各委員が緊張感を持って、これまで以上の予算質疑がなされ、今後の審査に大いに参考となりました。現場調査を含め、8日間の日程で行われ、審査結果は分科会委員長報告のとおり決定しました。



▲各分科会の議場での審査の様子(上から順に)総務分科会、民生教育分科会、産業建設分科会

## 3

### 財務委員長報告、採決(3月5日)

#### 予算審査 財務常任委員長報告 原案可決すべきもの

令和2年度の予算審査において、本委員会に付託された議案は、一般会計予算・国民健康保険特別会計予算・後期高齢者医療特別会計予算・介護保険特別会計予算・大曲浜地区土地区画整理事業特別会計予算および下水道事業会計予算の6議案について慎重に各分科会で審査されました。

復興完結に向けた最終年でもあり、地方財政対策等の内容を踏まえながら国の財源を有効に活用し、健全な市政運営を確保された適正な予算配分と判断しました。

留意すべき事業案件にも市職員が一丸となり得ることから原案通り全て可決となりました。